

学校関係者評価

学校関係者 学校運営協議会外部委員（5名）

評価実施日 令和7年2月14日（金）

学校関係者評価 A 適切である
B 概ね妥当といえる
C 再検討を要する

	項目	学校自己評価	改善の方策の方向性	学校関係者評価		備考 (委員意見等)
				学校自己評価の適切さ	改善の方策の適切さ	
1	学習指導	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の再確認。 ICT活用による主体的、対話的な学習の推進。 読解力向上を目指す視写、暗唱学習の導入 	A	A	
2	生徒指導	B	<ul style="list-style-type: none"> 「自己存在感」「共感的理解」「安全・安心な風土の醸成」を大切にした指導の確立。 児童会活動の活性化。 	A	A	
3	特別支援教育	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と困り感を共有し連携した個別支援の充実。 職員間の共通理解と連携強化。 	A	A	
4	地域との連携・協働	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動を徐々に広げ、保護者をはじめとする地域の意識啓発を進める。 	A	A	2年目となるため、活動を徐々に広げていきたい
5	安全・安心な学校づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の安全点検、管理の徹底。 健康安全に関する指導や情報提供の充実 	A	A	
6	教職員の資質向上	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員のニーズを反映した実践的な研修計画の作成及び業務の効率化や見直し。 	A	A	業務改善への見通しは甘いと感じる

次年度に向けて（今後の重点と改善のための方向性について）

学校関係者評価により、学校が考える課題や今後の方向性について一定の理解が得られた。「4 地域との連携・協働」については、地域への情報発信とともに、活動を通して児童に地域への感謝と愛着を一層持てるよう意識して指導にあたる。他の各項目について自己評価Bとはいえ課題は多い。まずは学習規律を確立し安心・集中して授業や諸活動に取り組めるよう、学習・生活面での共通指導事項や児童への働きかけ方等を、転入職員を含めた全職員で再確認し実践する。児童個々の自己存在感を高め、自分、仲間、集団の成長を自覚・実感し、共に喜び合い充実感を感じられるようにする。